作成年:2025年9月

### 健康投資

#### 体制整備・働き方改善

- 復職面談フロー策定・図解化
- 健康診断結果の一元化
- ・ 新人研修+メンター制度
- 採用時の働き方説明強化

#### 身体健康支援

- 予防接種促進
- 感染症対策研修
- 欠勤時応援体制フロー整備
- 精密検査受診勧奨運用フロー見直し
- ・ 女性の健康課題への取組み
- 特定保健指導の実施強化

#### メンタルヘルス支援

- ・ 実施後フォロープロセスの見直し
- ストレスチェック集団分析の活用

#### リテラシー・マインド醸成

- 健康リテラシー教育(健診結果の理解、 生活習慣改善の知識)
- ・ 業務改善活動の推進
- トリムの配信(情報発信)
- ・ 社内外セミナー参加・開催

### 健康課題

- 症状:首肩こり、腰痛、倦怠感、精神不調 、睡眠障害、女性特有、感染症
- 生活習慣: 喫煙、運動不足、飲酒、睡眠習
- 健診リスク:高血圧、肥満、脂質異常、血 糖異常、有所見率

### 健康投資の効果

#### 健康投資の取り組み 状況に関する指標

フロー見直し数、データ集約率

、研修実施数、オリエン実施数

予防接種率、研修実施数、勧

奨通知実施率、女性の健康づ

くり推進プロジェクトの実施

案内実施率、集団分析フィー

健康教育実施率、業務改善活

動の実施率、情報発信実施率

健康経営の浸透状況

「ウェルネススタイル」

回数、保健指導実施率

ドバック実施率

#### 従業員等の意識変容・ 行動変容に関する指標

参加率、復職支援制度の理解

予防接接種率、参加率・理解度

、精密検査受診率・理解度、生

活習慣関連指標の改善、生理休

暇取得率、保健指導による改善

面接指導・相談実施率、職場

改善活動実施率、プロセス理

参加率、理解度、業務改善活

動への参加率、情報配信の閲

度、相談先の認知・活用度、

就労環境の適合度

#### 健康関連の最終的な目標指標

#### 心身の健康状態の改善

- ・ 健診有所見率の低下
- ・ 感染症による欠勤日数の減
- ・高ストレス者率の低下
- 健康関連休職・離職率の低
- プレゼンティーズムの改善

### 働きがいの向上

- ワークエンゲイジメント平 均値の向上
- ・ 新人5年定着率の改善
- 医療職離職率の低下
- 平均勤続年数の上昇

### 地域・社会への還元

• ミッション・役割に対する 理解度/共感度

#### 方針実現のための体制・環境

覧率・活用度

解度

#### マネジメントレビュー 責任者:理事長

目標個人面接 組織:健康経営推進委員会 人員:産業医6名、保健師26名 職員携帯理念カード

> 会議:部門長会議 |外部:㈱アイセック 評価:健康経営優良法人

#### サポート・組織的支援・WSC等

ストレスチェック 知覚された組織的支援(POS)

## 健康風土の醸成

### 目標年:2028年

**KGI** 

| 顧りして

ケ

シシエ

-によるサ -ズム改善 -ジメント

ビパ均

スフォー(フォー

向上 : NPS50ンス評価85% 次状3.0)

のマ

向ン

テン

イゲ

1 イ

.. 亚

ω

2

現

### 目標

## 健康経営の 推進方針

### 経営方針

りと私 つ、地基に 域医室盤に、 、従 療 へ健業

め地境働職健 地域では、一般を防ぐは、一般を防ぐに、一般を防ぐに、 改

る  $\mathcal{O}$ 献 健 向 で
康
づ 上 安心 りを通じてサ て活力 を持つ

ービス品質を高

て働け

る環

の診員 持・の 続健心 心身 的康身 Ō なづの 責く健 健 献り康 康 を実験と を維 現のき し品が ま質い

勤

善シお、お客 をステ様民 様 い、それに第一点に第一点に第一点に第一点に第一点に第一点に第一点に第一点に対しています。 の向果にする選 で上に努めてありた。 に応えるた る続め る。続けるよう う質にマ 継続的、ネジメ

なン

改

ば

れ

続

け

る健

康増

進事業を推進

# 健康宣言

す向を 上守

をる

図こ

新潟県における健康寿命の延伸に貢献するため、 職員一人一人が心身ともに健康で、活き活き働ける職場 環境をつくり、働きがいのある職場を目指すことを宣言 する。

